

# ふ は る を え



女性協議会

## 「春を呼ぶ女性のつどい」

### 九州地連女性協議会

九州地連女性協主催の「2015春を呼ぶ女性のつどい」が2月21日福岡市天神のアクロス福岡で開催されました。一、二組からと、労連女性協の岸田書記長、九州地連役員のあわせで二五名が参加しました。

単組報告では、女性にとって働きづらい環境などについて活発な討論が行われました。保育園に空きがなく依頼退職、業務多忙で育児時短が取れない、社員アナの採用がないなど問題山積ですが、来年度入社が男

女同数、六年ぶり女性社員採用、一三年ぶりに結婚後もやめないアナ、育休明けの女性が民放祭で受賞したなど明るい話題も。働きやすい職場には周りの理解が不可欠、系列を超えて情報交換することの意義を再確認しました。

午後からは、博多の歴女と呼ばれる福岡市在住の歴史研究家・白駒妃登美さん

の講演でした。

★欧米と日本の労働観の違いについて、欧米は時間を切り売りする契約。日本で

は「働く」の語源が「傍の人を楽にする」からわかるように、自分の時間を誰かの喜びに変えること。★平等は権利だが役割は男女で違う。女性は「育む」男性は「守る」。今の日本は役割分担を忘れてはいないか？ 女性はしなやかで、



系列を超えた情報交換の機会に

したたかであれ。女性性を忘れて男性と勝負するのはもったいない。やりたいことをやって、大切な人は最後まで守る。

いからせていた肩の力がふっと抜け、自分の仕事がどんな未来に

つながるのか、労働観を見つめなおすきっかけとなった講演でした。

(九州地連女性協議書記長

加藤恭子)